

人生百年時代

「老人福祉法」が制定された昭和38年の百歳以上の高齢者は百53人でした。昭和56年には千人を突破し、平成10年には1万人を突破しました。毎年右肩上がりでも増え続けています。厚生労働省によると昨年9月の時点で、百歳以上の人が約7万人となり、48年連続増加しています。百歳以上の人は圧倒的に女性が多く、88%を占めています。ちなみに男性の百歳以上は8千3百人、12%です。都道府県別の人口10万人あたりの百歳以上の高齢者が最も多い上位3県は、島根県百1人、鳥取県97人、高知県329人。下位3県は、埼玉県329人、愛知県36人、

わが千葉県は39人です。百歳の方には国からお祝い状と「銀杯」が贈られます。人生百年の超高齢化時代は、健やかに生活を送れる健康寿命を延ばすことが今後の課題になっています。さて、古代インドでは、「学生（がくしょう）期」「家住（かじゅう）期」「林住（りんじゅう）期」「遊行（ゆぎょう）期」と人生を4区分しています。「学生期」で学び、「家住期」で働き、家庭を作り、子どもを育てた後に、人生のクライマックス「林住期」仕上げの「遊行期」を迎えます。人生百年を4つに分けて自分なりにどう設計するかです。医療の進歩、健康志向が高まる中、充実した人生を一人一人が真剣に考える時代になりました。

○語彙力チェック

- ① 決断を表す意味で「□は投げられた」という言葉がある。□に入る語は次のどれか。
A つば B つるぎ C さい
 - ② 「才腕を□るう」の□に入る漢字は次のどれか。
A 奮 B 震 C 振
 - ③ 「酒のさかなにする」という場合の「さかな」の意味として違うものは次のどれか。
A 話題 B 煮魚 C 食べ物
 - ④ 逆襲する意味で「□□□」を食わせる」というが、この「□□□」に入る語は次のどれか。
A 逆ねじ B ひじ鉄 C ひと泡
 - ⑤ 「先んずれば人を制す」の「先」と同意のものは次のどれか。
A 率先して行う B 先約を守る C 先制攻撃をしかける
 - ⑥ 「作為」の反対語は次のどれか。
A 自然 B 自由 C 放任
- （解答）① C ② C ③ B
④ A ⑤ C ⑥ A